



校 訓 「自立」「共生」「創造」

教育目標 自ら学び 人とつながり ともに未来を創る

三とせの月 目

「西陵中学校校便り」

第11号 令和6年1月31日発行

ホームページはこちらから⇒



新年に思う

校長 吉岡 智尋

昨年の秋に研究大会があり、道内からたくさんの方が小樽にやってきた。私は、ある分科会の記録係を担当することになり、提言者や助言者、あるいは協議における発表を記録し、まとめる仕事をするようになった。聞きながらメモをとってはいたが、念のために「ボイスレコーダー」の力を借り、録音することにした。

研究大会が終わり、自宅で相棒の「ボイスレコーダー」を再生し、文字起こしをしようと考えたが、2時間を超えた音声に疲弊したため、人工知能（AI）に助けを求めた。2時間を超えた音声は、わずか数分で私のパソコン上で文字となった。恐らく私の能力では次の日に持ち越す作業になっただろう。

しかしながら、AIの素早いこの作業も、よく読んでみると「教頭」が「京都」であったり、「指導力」が「動力」であったり、はたまた聞き取れない音声は空白であったりした。なるほどよくできた相棒は、まるまる信用してはいけないうであった。前後の文章から予想したりしながら誤字や脱字を修正しながらも記録は予想以上に早く完成し、冊子に載せるための「まとめ」の作業へと進めることができた。

7年前に、野村総研とオックスフォード大学の共同研究による「AIの台頭により、現在ある職業の半分程度が20年以内になくなる」という発表を聞いた。そのときは半信半疑であったが、国内の人手不足やコロナの世界的な影響もあり、今では身近なところでAIを利用したものを使うことが増えているように思う。人手不足の解消や便利な生活のために今後もAIの活用は進むのだろう。私たちは、そのためにAIの使い方を身に付けていることが必要である。生徒に情報処理技術を含めたAIに関する適切な知識を身に付けさせなければならない。しかしながら、AIは完璧ではないので、過度に信用してはいけないう、AIが不得意な分野は自分がより磨いていかなければならない。そう考えたときに、本校の教育目標である「自ら学び 人とつながり ともに未来を創る」の「主体性」や「人とのコミュニケーション力や協働」「未来に向けた創造力」は必須である。

改めて、学校教育において未来を担う子どもたちに必要な力を身に付けさせなければ、と“思い”を強くしている。

新しい年を迎えました。

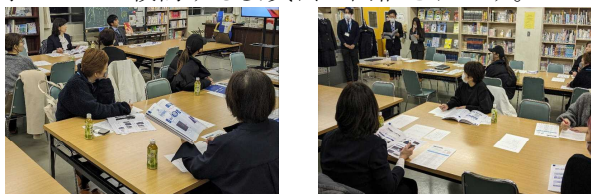
保護者、並びに地域の皆様、去年は、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

【連絡・お知らせ掲示板】

第1回制服選定委員会開催

1月23日(火)本校図書室にて、令和7年度改定予定の新しい制服を検討する第1回目の選定委員会が開催されました。

この日は3つの制服製造業者が15分ずつのプレゼンテーションを行い、11名の選定委員の投票により、本校の制服改定に携わる1者が選定されました。選定された業者は「菅公学生服株式会社」様となりました。2月には、さらにデザイン等について検討する委員会が開催されます。



(2月のスクールカウンセラー勤務日)

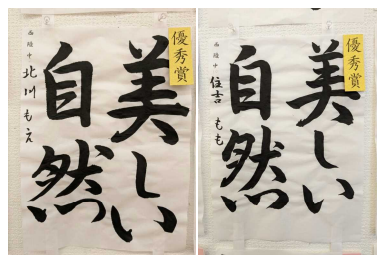
2/7(水) 12:30~16:30

2/28(水) 10:00~15:30

相談を希望する場合は、事前に学校に電話連絡して、時間調整をしていただくよう願います。

小中学校書き初め展

1月5日(金)から8日(月・祝)市立小樽美術館で小中学校書写展が開催されました。本校から出品された中、下記4名の生徒が入賞しました。



【優秀賞】

3年 北川 ○○
住吉 ○○

【入賞】

1年 松井 ○○
築瀬 ○○
3年 矢野 ○○

第51回中学生作文コンクール表彰式 2年増村○○さん「特選」受賞

全道各地の中学校207校から1万1千点を超える応募があった中から、地区審査、中央審査、最終審査を経て6点の賞が決まり、その中で増村さんは「特選 北海道放送賞」を受賞しました。

1月5日(金)札幌市内で表彰式があり、増村さんは主催者から「特選 北海道放送賞」の盾と賞状を受け取りました。増村さん、本当におめでとうございます。

2	月	各教科の授業予定		
		1年生	2年生	3年生
国語	8	自分を見つめる	8 表現を見つめる	3年間の学習のまとめ
社会		歴史的分野 第3章 中世の日本と世界	歴史的分野 第5章 日本の近代化と国際社会	3年間の学習のまとめ
数学		6章 空間図形 7章 データの分析と活用	5章 三角形と四角形 6章 確率	3年間の学習のまとめ
理科		大地の変化 1章 火をふく大地 2章 動き続ける大地 3章 地層から読みとる大地の変化	電気の世界 2章 電流の性質 3章 電流と磁界	地球と私たちの未来のために 2章 自然環境の調査と保全 3章 科学技術と人間 終章 持続可能な社会をつくるために 3年間の復習
音楽		歌唱表現に工夫して 合唱しよう	仲間とともに表情豊かに 合唱しよう	仲間とともに表情豊かに 合唱しよう
美術		木と親しむ暮らし	環境とともに生きる彫刻	地域の魅力を伝える 明かりがつける空間
保体		〔実技〕 ・バスケットボール ・スキー 〔保健〕 ・心身の発達と心の健康	<体育> ・バスケットボール <保健> ・健康な生活と疾病の予防	<体育> ・バスケットボール
技家		<技術> 2編1章 生物育成の技術の原理・法則と仕組み <家庭> 調理実習 計画と振り返り	<技術> 3編2章 エネルギー変換の技術による問題解決 <家庭> 私たちの消費生活と環境 トートバッグ製作	<技術> 4編3章 計測・制御のプログラミングによる問題解決 <家庭> 幼児のおやつ作り(調理実習)
英語		Pro9 A Trip to Finland St6 文の内容を理解し、 表現しよう Pro10 Grandma Baba's Warming Ideas!	Steps4 相手にわかりやすい説明をしよう PowerUp4 空港アナウンスを聞こう Program8 A Hope for Lasting Peace	FR1 The Ig Novel Prize FR2 Library Lion 3年間の学習のまとめ
道徳		郷土の伝統と文化の尊重 思いやり、感謝 友情、信頼	自主・自律、自由と責任 国際理解、国際貢献 生命の尊さ	勤労 よりよい学校生活、 集団生活の充実 よりよく生きる喜び

